

画像の読み方だけでなく 病態・治療・アセスメントについても理解を深める!

脳神経疾患における 画像読影のポイントと 看護への生かし方・役立て方



- 「どこが障害されて症状が出現?」「今すぐに必要な対応は?」など、実践的な画像の読み方を身につけアセスメント力向上!
- ケースカンファレンス形式で、知っておきたい専門用語や略語を覚えよう!

実践編 予測性を持った対応を!

画像を読影する上で必要となる脳や血管の解剖生理と機能局在ならびに画像を読むための基礎を復習し、代表的な脳疾患の実践的な画像の読み取り方から看護への生かし方を中心に解説します。

医学博士 **朴 永鉄氏** 奈良県立医科大学 脳神経外科 病院教授

日本脳神経外科学会代議員・指導医・評議員、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本脳卒中学会専門医、日本小児神経外科学会認定医・学術委員、日本脳神経外傷学会学術評議員、日本脊髄外科学会認定医、日本神経内視鏡学会技術認定医ほか。例えを用いたわかりやすい解説と重要なポイントを強調した講義に定評がある。加えて熱のこもった丁寧な指導が大変好評を得ている。

大阪 19年 8月31日(土) 田村駒ビル
東京 19年 9月15日(日) 日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル)

[講義時間] いずれも10:00~17:00

参加料 一般 19,500円 会員 16,500円
※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数17人。

プログラム

STEP 1 脳の解剖生理・機能局在や画像の読み方をおさらい
どの部位が障害されるとどんな症状が出現するかを理解
まず、現在身につけている知識を整理しましょう。
誤って理解していたり、不足していたりする基本的な知識がないか、
ここでしっかりと復習してください。

【画像所見から、どんな症状が出現しているか?】を考えます。

STEP 2 代表的な疾患の画像をマスター
的確なアセスメント・予測性を持った対応ができるように
脳梗塞、くも膜下出血、頭部外傷の画像を読み取る力を身につけると
同時に、病態や治療・アセスメントのポイントについても解説します。
【今必要な処置は何か? してはいけないことは何か?】
【起こりうる病態は? 病状を悪化させないためには何をすべきか?】を考えます。

STEP 3 ケースカンファレンスで実践的に考えよう
カンファレンスによく出てくる略語や専門用語を理解
多くのケースカンファレンスを経験することで、
知識をより深めることが出来ます。
ケースカンファレンス形式で知っておきたい略語や
専門用語を身につけ、明日からの実践に役立てましょう。
また、普段疑問に思っている術後管理のポイントについても解説します。

このセミナーの詳細はホームページで案内中!

日総研 14248

検索

Eメールで専門業務のニーズに応える
「今すぐ学べる情報」をお届け。《無料》

日総研ではアドレスをご登録いただいたお客様に、
毎週Eメールマガジンをお送りしています。



登録はこちら ▶ www.nissoken.com/mm

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書 脳神経疾患における 画像読影のポイントと 看護への生かし方・役立て方 [14248]	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所 TEL() - 〒 -	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
	ふりがな	氏名 (受取確認者)		
↓参加地区に✓印を	生年月日 西暦 19 年 月 日	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください		送付先 自宅 ・ 勤務先
[7] <input type="checkbox"/> 大阪 8/31	お客様コード	役職・部署		
[8] <input type="checkbox"/> 東京 9/15	ご連絡をお送りします。メールアドレス			

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy